

よくばり女子
必見情報!

《ろうきん》で女子力UP!

投資って、
私たちに
必要なんですか?

人生90年代の女子的 お金のテクニク

Part 3
4回シリーズで
お送りします

「今のお金の使い方」を見直そう!!

貯蓄より高いリターンを得られれば、目標額に早く到達できる可能性が高くなります。いつまでにいくら必要かゴールを決めると投資の必要性がわかります。



女性メンバーで作る チアーズ cheer's プロジェクトII



課題抽出・整理から、具体的施策の検討へ!

女性にもっと利用いただくためにはどうしたら良いか、効果的なプロモーションとは何かなど、女性職員に展開したアンケート等も参考にしながら、様々な角度から課題を抽出・整理しました。



課題は大きく分けて「女性へのアプローチ」「イメージ戦略」「職員満足(E.S.)」に分類し、2017年4月からの展開に向け、具体的な施策の検討に入りました。

今後の展開にどうぞご期待ください!



女の一生に必要なお金

※現行の年金制度が続き、65歳まで働いた場合。

正社員シングル

老後の年金 → 月14万円
必要な貯蓄額 → 約1,000万円

非正規シングル

老後の年金 → 月6.5万円
必要な貯蓄額 → 約1,380万円

現役時代の平均年収450万円の場合、持ち家で住宅ローンを完済していれば年金で生活を賄うことが可能だが、病気など万が一の備えも含め1,000万円準備したい。

節約して月8万円で生活すると仮定。65~86歳の21年間で380万円が不足する。医療・介護などの費用も見込んで1,380万円程貯めておきたい。

共働き(妻は正社員)

老後の年金 → 夫婦で月26万円
必要な貯蓄額 → 約1,000万円(各自)

共働き(妻はパート)

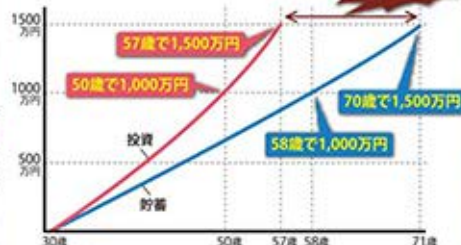
老後の年金 → 夫婦で月20.5万円
必要な貯蓄額 → 約1,300万円(各自)

現役時代の平均年収が夫400万円、妻は300万円の場合。費沢をしなければ生活を賄える額だが、生活費以外の支出を含めて各自1,000万円は用意したい。

妻が厚生年金に加入していない夫婦、夫の現役時代の平均年収が400万円の場合。定年退職後に標準的な生活をして、生活費が一人300万円ほど不足する。

貯蓄のみだと、老後資金づくりに時間がかかる!

30歳から月3万円を貯蓄、または投資で積み立てると... その差が14年!!



貯蓄だけだと1,000万円まで28年、1,500万円まで41年もかかり、老後に間に合わない心配も。投資なら20年で1,000万円、27年で1,500万円と目標に早く到達できる試算。

※貯蓄(普通預金)の年利は0.02%(複利)、投資は年率リターン3%(複利)で試算。運用中の税金、コストは考慮していない。